

7. インターンシップ

(1) インターンシップとは

インターンシップとは、学生が在学中に企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度です。国際化・情報化の進展、産業構造の変化などに伴い、社会から求められる人材も大きく変わりつつあります。このような状況下において産官学連携による創造的人材の育成をめざす、インターンシップ制度が注目を集めています。

本学には大学独自の「広島修道大学インターンシップ」と「中国地域インターンシップ」があります。その他にも長期の就業体験を行う「長期インターンシップ」があります。事前に申込みをし、選考に合格した学生のみが履修登録できます。当該年度の科目開講状況や、履修生募集を行う実習先等については、教学システムのお知らせやHP等で配信します。履修を希望する場合には確認をしておいてください。

(2) 広島修道大学インターンシップ

① 科目と実習先

配当年次、開講期等、科目の詳細は、各科目のシラバスで確認してください。

開講学部・学科以外の学生も他学部・他学科履修でこれらの科目を履修することができます。

商学部

【国内】

〔科目名〕 インターンシップ 2単位

〔実習先〕 会計事務所、金融業、観光業、流通・小売業、製造業、公益財団法人など

【国外】

〔科目名〕 海外ビジネス研修 2単位

〔実習先〕 中国・大連市

人文学部

〔科目名〕 インターンシップ 2単位

〔実習先〕 福祉・国際協力・地域理解の3領域

法学部

〔科目名〕 インターンシップ※1 2単位

〔実習先〕 司法書士事務所、社会保険労務士事務所、法律事務所、公務職場など

※1 科目名は受講年度や実習先によって異なります。

経済科学部

〔科目名〕 インターンシップ 2単位

〔実習先〕 金融業、製造業、情報・通信など

人間環境学部

〔科目名〕 インターンシップ 2単位

〔実習先〕 観光農園、宿泊体験施設、建設業、環境教育事業、NPO・市民活動支援など

健康科学部

〔科目名〕 インターンシップ 2単位

〔実習先〕 食産業（食品・飲料の製造・卸・小売業）

国際コミュニティ学部

〔科目名〕 インターンシップA※2 2単位
インターンシップB※2 4単位

〔実習先〕 国際化・国際交流、マスメディア、地域活性化などに関わる企業・団体など
実習先は年度によって異なります。教学システムのお知らせやHP等で確認してください。

※2 科目名は実習先によって異なります。

② インターンシップ科目の授業形態と成績評価

a. 事前指導

実習の開始までに、プログラムのガイダンスや、ビジネスマナーの指導、実習先の事業概要説明、実習テーマ等についての指導があります。

b. 実習

指定された実習先で所定の期間、実習します。実習中は実習先の担当者が指導します。

c. 事後指導

実習日誌の提出、実習レポート、課題研究レポートの作成、添削指導、実習結果についての報告（プレゼンテーション）、ディスカッション等を行います。

d. 成績評価

事前指導、事後指導の際の出席状況、受講態度、レポートの内容や、報告会でのプレゼンテーション、実習先からの評価等をもとに、科目担当の教員が総合的に評価します。なお、インターンシップ科目は通年または後期の科目として、単位認定されます。

③ 応募と選考

履修にあたっては、所定の申込み手続きが必要です。履修前年度の後期期間中に履修生の募集要項を提示し、説明会を開きます。募集締切後に面接等により選考を行い、実習先（履修）を決定します。

④ 問い合わせ先

教学センター

(3) 中国地域インターンシップ

① プログラムの概要と認定科目

履修年度の4月中旬以降に、実習プログラムが教学システムのお知らせやHP等で公開されます。実習先は企業、政府機関、地方公共団体、公益法人などです。参加申込みをした後、実習先から受入れの承諾を得、6月から事前指導、夏季休暇中に実習、後期に事後指導を行います。このインターンシップに参加した場合も、時間数、実習内容等一定の基準を満たしたものは以下のとおり単位を認定します。

商学部

〔科目名〕 B4群特殊講義a（中国地域インターンシップ） 2単位

開講学部以外の学生は、他学部・他学科履修となります。授業形態、成績評価は(2)の②を参照してください。実習先の受入れが決定するのが5月下旬以降になるため、この科目を履修する場合は、後期履修登録期間に履修登録することになります。

なお、この科目の2単位は年間履修制限単位に含まれます。中国地域インターンシップについての詳細は、4月以降に教学システムのお知らせ等で配信のうえ、5月の募集説明会で説明しますので参加してください。

② 問い合わせ先

教学センター

(4) 長期インターシップ

① 科目の概要と実習先

長期インターンシップは、長期の就業体験を通じて、大学卒業時に社会から求められる課題発見・探求能力・実行力を身につけていくことを目的としています。この科目では、学生自身が主体的に考え、行動できる力を養成します。また、企業・団体等の風土を感じながら、社会人としてのマナーの大切さを知り、組織におけるチームワークの大切さを学びながら、学生一人ひとりの職業観、価値観、また人生そのものを考える契機とすることができます。

プログラムは4週間または8週間を基本とし、学科目としてそれぞれの学部で配当されます。

詳細は、各学部の科目配当表及び当該科目のシラバスを参照してください。

〔科目名〕長期インターンシップA	4単位
長期インターンシップB	8単位
長期インターンシップ事前・事後指導	1単位

履修については、各学部の履修細則に従います。科目の配当年次、開講期、当該年度の開講状況等詳細は、各科目のシラバスで確認してください。実習先により受入れ対象学年が異なる場合があります。

② 履修上の注意、授業形態と成績評価

a. 履修上の注意

「長期インターンシップA」（4単位）・「長期インターンシップB」（8単位）を履修する場合は、併せて「長期インターンシップ事前・事後指導」（1単位）を履修しなければなりません。

b. 事前指導：「長期インターンシップ事前・事後指導」

実習の開始までに、プログラムのガイダンスや、ビジネスマナーの指導、実習先の事業概要の研究、実習テーマ等についての指導があります。

c. 実習：「長期インターンシップA」（4週間）または「長期インターンシップB」（8週間）

指定された実習先で所定の期間、実習します。実習中は実習先の担当者が指導します。実習日誌、実習報告書の提出を求めます。

d. 事後指導：（「長期インターンシップ事前・事後指導」）

課題レポートの作成、添削指導、実習結果についての報告会（プレゼンテーション）、ディスカッション等を行います。

※事前指導、事後指導の講義スケジュールは決定次第教学システムのお知らせ等にて連絡します。

e. 成績評価

事前指導、事後指導の際の出席状況、受講態度、レポートの内容や報告会でのプレゼンテーション、実習先からの評価等をもとに、科目担当の教員が総合的に評価します。

なお、「長期インターンシップA」（4単位）、「長期インターンシップB」（8単位）および「長期インターンシップ事前・事後指導」（1単位）は後期に単位認定されます。

③ 応募と選考

履修にあたっては、所定の申込み手続きが必要です。履修前年度の後期期間中に募集要項を提示し、説明会を開きます。募集締切後に面接等により選考を行い、実習先を決定します。

④ 問い合わせ先

手続きや実習内容等に関すること：キャリアセンター

科目の履修等に関すること：教学センター